

## 岐阜労働局長がベストプラクティス企業の職場を訪問

岐阜労働局長（畑俊一）は、11月の過労死等防止啓発月間、過重労働解消キャンペーンの取組のひとつとして、長時間労働削減、年次有給休暇取得等に積極的に取組み、効果を挙げているベストプラクティス（※）企業として、株式会社電算システム（岐阜市日置江1丁目58番地）を11月20日に訪問し、田中社長や従業員と意見交換を行った結果を取りまとめましたので公表します。

※ 課題の克服や問題解決のためのすぐれた実践例、優良事例

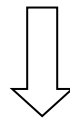
### 【職場訪問の概要】

- 会社の取組内容の説明を受けた後、畑局長は、田中社長と残業時間の削減や有給休暇の取得促進等において工夫されている点などについて意見交換を行いました。

田中社長は、働き方改革を進める上で、人材育成や従業員とのコミュニケーションの重要性について強調されていました。

〔会社の主な取組〕

- ① 毎月開催するコンプライアンス委員会において、労働時間の状況について社内幹部間で共有の上、各事業部で時間外労働削減に向けた課題や対策を検討し、具体的な取組を実施
- ② RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を積極的に導入することで業務の効率化を図り、作業時間を大幅に縮減
- ③ 各従業員から年次有給休暇取得予定を提出させ、取得が進まない従業員に対し、管理本部から取得促進について指導



取組の結果

過去5年間で  
時間外労働時間が49.5時間減少  
（年間1人当たり）  
年次有給休暇取得率が10.9%増加



- 続いて、畑局長は、従業員2名と会社の職場環境等について意見交換を行いました。



従業員からは、「グループでスケジュールを共有しており、効率的に働けるようになった。」、「上司から、早く帰ろう、月に一日は有給休暇を取ろうといった声かけをしてもらい、とても休暇が取りやすい。」といった意見が出されました。

- 意見交換後、畑局長から「コンプライアンス委員会で検討した対策が現場に浸透している。今後も、絵に書いたことを現場でどう活かすかということを中心に意識していただき、長時間労働の解消を含めた働き方改革の実現に向け、一層の取組をお願いします。」とコメントして職場訪問を終えました。